

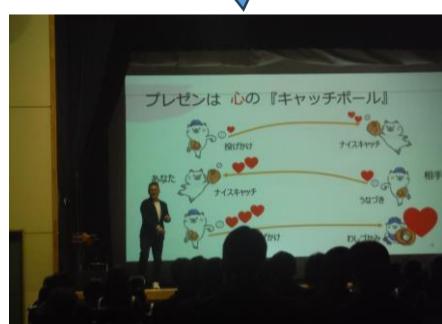
教育委員会通信

佐呂間町教育委員会

3年生による町長・
教育長へのプレゼン
の様子！



尾方一成氏による全
校生徒へのプレゼン
の講義の様子



全校発表の様子！
数名の方が参観に来
られていました



令和7年12月26日（金）

小中一貫教育の取組

第八号



佐
中
一
総
合
的
な
学
習
の
時
間

中3は地域活性化策を町長・教育長に提案

全校発表会を実施！

町長と教育長に
地域活性化策を提案

子育て世帯定着へ環境整備等

12月2日（火）、佐呂間中学校の3年生は、武田町長と鈴木教育長に総合的な学習の時間の一環で、町の活性化案をプレゼンテーションしました。

例年、米国アラスカ州のパーマ市の生徒との交流や上級学校訪問などを総合的にまとめ、グループごとにプレゼンテーションを実施していましたが、今年度は3年生33人が一人一テーマで活性化案を考えました。この日までに学級でプレゼンを行い、その中から選ばれた生徒8人が発表に立ち、自身の住んでいる町の現状や課題、改善策など、学習してきた成果を伝えました。

プレゼンテーションでは、佐呂間町が北見市や網走市などから通り道になっているとして、子育て世代の定着を図り居住環境を整備する案や、町の高校生を増やすために下宿などの宿泊環境を整備する案、市民と作る美しい町案などを発表しました。

講評では、武田町長が「写真の使い方やデータのグラフの使い方などが上手だった。町でも活性化案の共有を行う」などと述べました。

また、鈴木教育長は「データを示しながら説明していたところが特に良かった。これからも町について考える学習に取り組んでほしい」と述べました。

「国際理解」について

佐呂間中学校では、総合的な学習の時間で、国際理解についても学習しています。
(1) 探究学習やパーマ生徒との交流を通して、アラスカ州の伝統や文化について理解を深めます。
(2) パーマ市の生徒との交流から、国際感覚や柔軟な思考力、異なる視点や価値観を理解する力を養います。

以上のことを目的として、一年生は「アラスカの食」について。二年生は「アラスカの伝統や遊び」について。三年生は「アラスカの歴史」について学習しています。

今年度も六月六日～二十日の期間、パーマ市から中・高生が十名来町し、佐呂間からは九月五日～二十日までの期間、中学生一名、高校生三名がパーマ市を訪れ、交流しました。